

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	79	事業名	函館山緑地整備費		事業の性質別	裁量的経費	区分		
予算事項名	大事項	緑化整備費		中事項	函館山緑地整備費		部課名	土木部緑化推進課	
事業開始年度	昭和	年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等()			電話番号	21-3433

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 函館山にかかる設備を整備することにより、市民や観光客をはじめとする誰もが安全で安心して利用できるようにすることを目的としている。
	【必要性】 例えば、排水施設の改修や老朽化した送水ポンプを更新しなければ、展望台にて水の利用ができないため、展望台の利用不可、しいては、観光施設である函館山夜景を見ることができないという大きな問題を発生することになる。また、立待岬の転落防止柵を改修することにより、落下事故を防ぐなど、函館山の施設整備をすることは、市民や観光客の安全および利便性の向上を図るもので市として当然の責務である。
内容	老朽化が顕著となった函館山緑地施設の改修や整備などを行う。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		8,310	8,928	13,300	11,988	25,600	0
特定財源	国・道						
	市債	6,200	6,600	13,300	8,900	25,600	
	その他	1,000	1,000		1,000		
一般財源		1,110	1,328		2,088		
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合もある。	職員	人工 0.28 2,102	人工 0.30 2,165	人工 0.01 73	人工 0.01 73	人工 0.10 751	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	2,102	2,165	73	73	751	0
総事業費計(A+B)		10,412	11,093	13,373	12,061	26,351	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
給水ポンプの更新	式			1	
排水施設の改修	式		1		
立待岬転落防止柵の改修	式	1			

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない。
------	--------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	函館山緑地施設の機能保全や向上により、市民や観光客をはじめとする誰もが安全で安心して利用できる都市公園が確保された。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	平成28年3月に北海道新幹線開業を控えており、必要性は高い。また、改善が必要な老朽施設があることから、より一層適切な施設の維持管理が求められる。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	北海道の公園緑地事業実務要領や積算基準等に基づき、適正な設計・事業費の算定を行っている。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在と変わらない	
			受益者負担の適正度	適正			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	必要となる事業を的確に把握することにより、目的を達成している。	執行方法	外部委託の可能性	不可能	市起債事業による公共施設整備であることから、市以外の第三者による施行はできない。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など							

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 適正な設計・事業費の算定を行うと共に、コスト縮減に努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	事業内容や必要性が、地域の状況により異なることから、類似事業としての比較はできない。
----------------------------	--